

小林市 定例記者会見

令和5年2月17日 11時
市役所第1別館 大会議室



(市長説明の要旨)

- 現在の市政運営の近況、3月定例議会に提出する議案を報告する。

観光・イベント



2月25日(土)・26日(日)
第25回みやざきツデーマーチ
こばやし霧島連山絶景ウオーク



3月18日(土)
第43回すき花火大会



3月5日(日)
第7回こばやし霧島連山絶景マラソン



3月25日(土)
まきばの桜まつり2023



2

(市長説明の要旨)

- 2月、3月はイベントが目白押し。市内外多くの誘客による経済効果を期待している。
- 2月25、26日は、4年振りの開催となる「みやざきツデーマーチ こばやし霧島連山絶景ウオーク」。県内外から約1,400人の申込をいただいている。
- 3月5日は、同じく4年ぶりの開催となる「こばやし霧島連山絶景マラソン大会」。いずれも参加者に満足していただき心に残る大会となるよう準備していきたい。
- 延期となっていた「すき花火大会」を3月18日に開催。7千発の花火打ち上げを予定している。
- 3月25日には、小林の春の風物詩である「まきばの桜まつり」を開催する。約1,000本の桜並木とイベントを楽しんでいただきたい。

子育て支援



小林総合運動公園の複合遊具リニューアル



市役所1階にフォトブースを設置



小林市子ども応援基金の寄付を募集開始



おめでとう赤ちゃん木工遊具

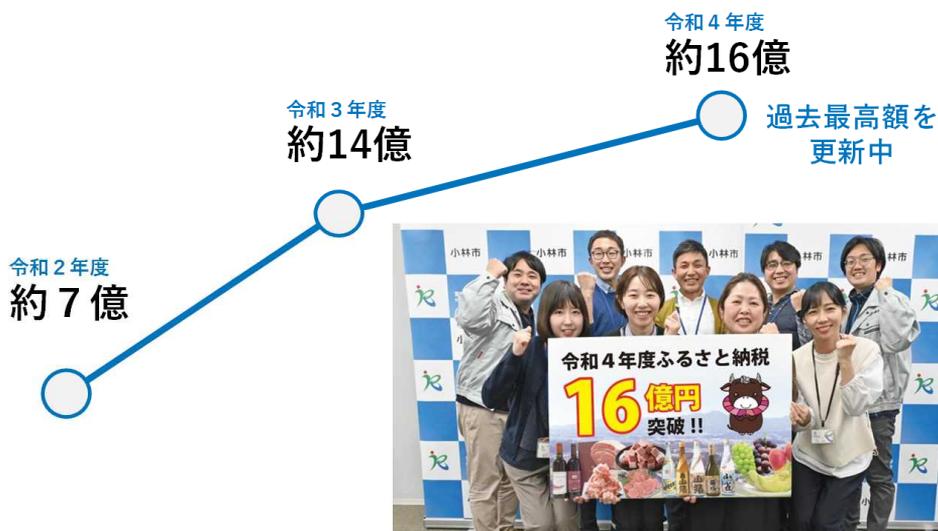
3

(市長説明の要旨)

- 小林総合運動公園の老朽化した複合遊具をリニューアルし、2月15日に供用を開始した。市のシンボルをモチーフとしたデザインを散りばめた大型の複合遊具。
- 婚姻届の記念撮影用フォトブースを市役所1階に設置した。夫婦となった特別な日の記念として気軽に利用してほしい。
- 昨年12月に新設した小林市子ども応援基金。寄付を募るため、市民や団体、企業に向けて、周知している。
- 赤ちゃん誕生のお祝いとして木工玩具『つみきカレンダー』を新たに作成し、配布を始めている。宮崎県産のヒノキを使ったもの。ご家族へ祝福と応援の思いを込めて贈るものである。

ふるさと納税

過去最高額となる16億円を突破



4

(市長説明の要旨)

- 令和4年度のふるさと納税は、過去最高額となる16億円を突破。現在も最高額を更新中である。
- 昨年度から引き続き、課題の洗い出し、効果的なプロモーションの実施や返礼品の見直しを行った。
- 全国の皆さまからいただいた貴重なご寄付を有効に活用していきたい。

令和4年度 3月補正予算

一般会計補正予算

補正前

300億

7623万5千円

+

3月補正

9億

376万6千円

一般会計
補正後

309億

7900万1千円

5

(市長説明の要旨)

- 一般会計の3月補正予算は、歳入歳出それぞれ9億376万6千円を増額。
- 補正後の総額は、309億7900万1千円。

令和4年度 3月補正予算

継続

地域経済緊急支援事業費

補正額：81,588千円

概要

- 発行総額（予定） 468,000千円（13千円×36,000セット）
- プレミアム率（予定） 30%（13千円分の商品券を10千円で販売）
- 販売期間（予定） 令和5年6月上旬から中旬まで



6

（市長説明の要旨）

- 補正予算の主な事業のうち、2件を説明する。まずは「地域経済緊急支援事業費」。
- 繰り越しにより 今年の6月頃に発行予定。額は4億6800万円分で、プレミアム率は30%。
- 消費喚起につなげ、コロナや原油価格・物価高騰の影響を受けている地域経済の回復を図りたい。

令和4年度 3月補正予算

新規

森林基金積立事業費

補正額：5,165千円

概要

- 市内の森林の適正な管理と林業を起点とする地域の活性化を図るため、事業の財源となる、森林基金を新設し、積立てを行う。



7

(市長説明の要旨)

- 新規事業 「森林基金積立事業費」。
- 市内の森林の適正な管理や林業による地域活性化を図るための事業の財源となる基金を新設。その積み立てとして、516万5千円を計上する。

未来につなぐ “元気と笑顔ハッシン”予算 (発信、発進、発振)

令和5年度	令和4年度	増減額	対前年度比
287億7000万円	259億8000万円 (当初)	27億9000万円	110.7%
	276億8574万円 (6月補正)	10億8426万円	103.9%



- ・ 当初予算 (肉付予算含む) として過去最高額の予算規模
- ・ ポストコロナや時代の変化に応じた対策の実施
- ・ 災害に即時対応できる予算

(市長説明の要旨)

- ・ 令和5年度の当初予算は、「未来につなぐ 元気と笑顔ハッシン予算」として、市民の活躍や市の魅力、市の取り組みをしっかりと“発信”し、これまで積み上げたものをしっかりと形にしていく“発進”。そして波が伝わるように、官民一体となって小林市を活性化させていく“発振”。そのような意味を含めたの予算とした。
- ・ また、子育て支援や市民の健康づくり、持続可能な財政運営など、未来を見据えた予算により「未来につなぐ」という枕言葉をつけた。
- ・ 金額については、当初予算として過去最高額の規模となる287億7000万円。
- ・ ポストコロナや時代の変化に応じた対策を実施し、さらに災害により被災した施設などの早期復旧に対応できる予算とした。

令和5年度 当初予算

重点的・戦略的に
推進する

5 つの
施策

1 健幸のまちづくりの推進

2 産業・経済の活性化

3 地域活性化と生活基盤の整備

4 子育て支援・教育・福祉の推進

5 ゼロカーボンシティの推進

(市長説明の要旨)

- 当初予算で重点的・戦略的に推進する施策として、5つの柱を設定。

令和5年度 当初予算

1 健幸のまちづくりの推進



建設課

継続

健幸のまちづくり拠点施設整備事業費 …… **992,102**千円

令和4年度に実施した基本設計に基づき実施設計と施工をデザインビルド方式により、健幸のまちづくり拠点施設の整備を行う。



健康都市推進室

継続

健幸都市推進事業費 …………… **15,603**千円

昨年度に引き続き、市民の歩くことの習慣化に重点を置いた取り組みを推進します（具体的な事業：こばやし健幸ポイント事業、健康づくり推進企業認定制度、健幸アンバサダー養成講座、啓発コンクール等）

地域振興課（野尻庁舎）

継続

公園整備事業費 …………… **11,000**千円

スポーツ大会、合宿の利用促進や利用者の安全性、利便性の向上を図るため、大塚原運動公園の観覧席に屋根を設置する。

10

（市長説明の要旨）

- 1つ目の柱は 「健幸のまちづくりの推進」。
- 今回の予算の目玉。体育館、健康づくり、子育て支援、避難所などの機能を備えた複合型の「健幸のまちづくり拠点施設」の設計と施工を実施する。9億9210万2千円を計上。
- 総事業費は約52億円となる予定で、令和8年3月の完成を目指す。
- また、歩くことの習慣化により市民の健康づくりをすすめる健幸ポイント事業、健康づくり推進企業の認定等を行う「健康都市推進事業費」。
- そして、スポーツ大会、合宿の利用促進や利用者の利便性などを図るため、大塚原運動公園の観覧席に屋根を整備する「公園整備事業費」を計上。
- ハード、ソフト両面から健幸のまちづくりを推進していく。

令和5年度 当初予算

2

産業・経済の 活性化



農業振興課 新規

農業経営の世代交代対策事業費 …………… **43,326**千円

要件を満たす農業後継者や新規就農者に対し、補助金を交付する。

農業振興課 新規

森林整備促進事業費 …………… **20,000**千円

宮崎県ひなたの子カラ登録事業者に対して高性能林業機械導入の経費に対する補助や、再造林を行う者に対して再造林に要する経費に対する補助を行う。

畜産課 新規

肉用牛振興対策事業費（臨時）…………… **19,200**千円

飼料価格の高騰、子牛の市場価格の低迷等への対策として、要件を満たす肥育農家、繁殖農家に対して補助金を交付する。

(市長説明の要旨)

- 2つ目の柱は「産業・経済の活性化」。
- 農業経営者や新規就農者を補助する「農業経営の世代交代対策事業費」。
- 次に、市内にある森林の再造林を促し、健全な森林の維持と造成を推進する「森林整備促進事業費」。
- 次に、飼料価格の高騰、子牛の市場価格の低迷等の対策として和牛農家を支援する「肉用牛振興対策事業費（臨時）」。

令和5年度 当初予算

2 産業・経済の活性化



地方創生課 継続

ふるさと納税推進事業費 **829,150**千円

マーケティングの強化等により、地場産品の流通拡大と寄付金の増加を図る。



地域整備課（須木庁舎） 継続

山村活性化支援事業費 **7,180**千円

須木米の生産量の増加、ブランド化を目指し、土壌調査、農産物検査等を行う。また、須木米を活用した新たな加工品の開発やパッケージの製作などを行い、販売促進を図る。



(市長説明の要旨)

- ふるさと納税の更なる寄附増加と、地場産品の流通拡大を図る「ふるさと納税推進事業費」には、8億2,915万円を計上。
- 「山村活性化支援事業費」として、須木米の生産量の増加、ブランド化をすすめて、販売促進を推進する。

令和5年度 当初予算

3

地域活性化と生活基盤の整備



企画政策課

新規

集落対策推進事業費 **7,399**千円

集落支援員を新たに設置し、市民団体や地域の状況調査等を行い、地域の実状に応じた地域の維持・活性化活動を支援する。

企画政策課

新規

こばやしの人とまちが輝く！元気と笑顔ハッシン事業費 **5,000**千円

市民活動団体、事業者等が行う市民に元気と笑顔を発信するための事業や商店街等が行う消費喚起のためのイベントに要する経費を補助する。

企画政策課

継続

デマンド型交通実証運行事業費 **3,492**千円

デマンド型交通実証運行計画に基づき、実証運行を実施し、利用状況や利用者、交通事業者等の意見を分析し、デマンド型交通への転換可能性を検討する。

建設課

継続

都市計画道路整備事業費 **214,089**千円

国道から防災拠点施設である市庁舎までの重要なアクセス道路である市役所通線の改良工事を実施するため、移転補償等を行う。

13

(市長説明の要旨)

- 3つ目の柱は、「地域活性化と生活基盤の整備」。
- 新規事業となる「集落対策推進事業費」。集落支援員を新たに設置し、地域の維持と活性化を支援する。
- 次に、これまでの「元気と笑顔創出事業」の発展形となる「元気と笑顔ハッシン事業費」。市内団体や事業者、商店街等の事業やイベントに対して補助を行う。
- 続いて、「デマンド型交通実証運行事業費」。デマンド型交通への転換の可能性を分析・検討する。
- 市役所までのアクセス道路の改良工事を実施するための移転補償等を行う「都市計画道路整備事業費」を計上。

令和5年度 当初予算

4

子育て支援・ 教育・福祉の推進



子育て支援課 継続

少子化対策事業費 **8,837**千円

昨年度に引き続き、おめでとう赤ちゃん祝品支給事業や、結婚新生活応援事業（要件を満たす人に対するの補助金）を行い、結婚、出産、子育てを支援する。



スポーツ振興課 継続

学校給食物価高騰対策事業費 **11,170**千円

学校給食会に対し、高騰する食材費の増額分を補助する。

スポーツ振興課 継続

てなんど小林学校給食応援事業費 **70,080**千円

保護者の経済的負担の軽減を図るため、小・中学校等児童生徒（就学援助制度の対象を除く。）の学校給食費の5割相当額を学校給食会等に補助する。

（市長説明の要旨）

- 4つ目の柱は「子育て支援・教育・福祉の推進」。
- 「少子化対策事業費」として、昨年度に引き続き、祝品事業や結婚生活を応援する補助金などを交付する。
- 次の2つは家庭の負担を軽減する給食に関する事業。まず高騰する食材費の増額分を補助する「学校給食物価高騰対策事業費」に1,117万円。そして給食費の5割相当を補助する「てなんど小林学校給食応援事業費」に7,008万円を計上。

令和5年度 当初予算

4

子育て支援・ 教育・福祉の推進



福祉課

新規

重層的支援体制整備事業費 …………… 26,589千円

高齢者、障がい者、子ども・子育て世帯、生活困窮者などの相談者の属性や世代に関わらず、住民の相談を受け止め、本人に寄り添い、課題解決に取り組むための、多様な機関や地域資源を活用した支援体制を整備する。



一人ひとりの暮らしと生きがい、
地域とともに創っていく社会へ

長寿介護課

新規

介護従事者確保等推進事業費 …………… 5,500千円

介護サービス事業所における人材を確保・育成を図るため、市内事業所に介護職として就職した者に支援金を交付する。

※障害福祉サービス事業者等、保育所、認定こども園、幼稚園等の運営事業者に対しても同様の取り組みを実施

15

(市長説明の要旨)

- 新規事業として、すべての地域住民を対象として、包括的な支援の体制整備を行う「重層型支援体制整備事業費」に2,658万9千円。
- 人材が不足する介護分野の人材獲得や育成を推進するため、介護職として就職した人に支援金を交付する「介護従事者確保等推進事業費」に550万円。

令和5年度 当初予算

5

ゼロカーボン シティの推進



管財課

新規

車両購入費 **5,666**千円

ゼロカーボンシティ宣言の実現に向けて、公用車の更新時に次世代自動車を購入する。令和5年度は2台の電気自動車を購入する。



長寿介護課

新規

老人ホーム等事業費（臨時） **14,424**千円

養護老人ホーム慈敬園の老朽化した設備の修繕にあたり、地球環境へ配慮した空調設備改修の可能性調査等を実施する。



16

（市長説明の要旨）

- 5つ目の柱は「ゼロカーボンシティの推進」。
- 公用車2台を電気自動車に更新する「車両購入費」に566万6千円。
- 養護老人ホーム慈敬園の設備修繕にあたり、地球環境へ配慮した空調設備改修の可能性調査などを実施する「老人ホーム等事業費（臨時）」に1,442万4千円を計上。
- 5つの柱とした予算により、市民が元気に笑顔で暮らせるまちづくりを推進していく。